

さくらへようこそ!

新入社員紹介

新たにさくら株式会社の仲間に加わった
4名の方をご紹介します!
ぜひコミュニケーションのきっかけに
活用してみてください。

さくらだより

vol. 54

2025年6月20日発行



出身地
神奈川県足柄上郡

誕生日
1月21日

- 趣味
- ・釣り
 - ・子どもと公園で遊ぶ
 - ・夫婦で趣味の着物を観に行ったり、フリーマーケットに行ったりする
 - ・ゆっくり身体を休める

Q 前職の仕事内容

福島県の会社で、現場監督をしていました。主に担当していたのは福島県にある原子力発電所です。定検工事や新規の建物建設工事の監督業務に従事していました。

Q 入社のきっかけ

以前の職場で社長に出会い、私の家に下宿した縁で親しくさせていただいたことがきっかけです。偶然連絡をいただいた際、仕事の現状を報告し相談したところ、入社を快諾いただきました。妻も社長のお人柄に好感を持っていたため、入社することになりました。

Q さくらの良いところ

皆が常に良くなるようと考え前に進んでいる雰囲気や、何かあってもそれを糧に良くしていこうとする姿勢があるところです。

皆さんへのメッセージ

道具の段取りやメンテナンスを任せていただいているため、道具のある場所などを私にお声がけいただければ、いつでも答えられます。修理なども含めて、ぜひたくさん頼ってください!

たか さき やす お
製造部 **高崎 康央さん**



出身地
宮城県名取市

誕生日
5月16日

- 趣味
- ・旅行
 - ・美味しそうなレシピを探して料理をすること

Q 前職の仕事内容

株式会社ハイパーラーニングという学習塾で働いていました。入社から数年間は請求書作成業務と並行し、塾講師として個別指導コースのお子さんたちへの指導も担当。結婚・出産後は、主に請求書作成や経理、保護者対応といった業務に携わっていました。

Q 入社のきっかけ

前職で働いていた学習塾がさくら株式会社の関連会社となり、「さくらで働きませんか?」と声をかけていただき、入社しました。

Q さくらの良いところ

風通しがよく、社長にも話がしやすいところです。

皆さんへのメッセージ

さくらのような規模の大きな会社で、経理を担当するのは初めてです。まだまだ学ぶことが多いですが、皆さんのお力をお借りして、成長していければと思っています。よろしくお祈りします!

うち み ゆ い
経理課 課長 **内海 優衣さん**



出身地
宮城県

誕生日
10月17日

- 趣味
- ・ベイブレードX
 - ・ガンブラ製作

Q 前職の仕事内容

飼料製造工場で、主に牛用の餌を製造していました。蒸気を使用していたため、配管を使う側でした(笑)

Q 入社のきっかけ

地域の広報誌で、さくら株式会社の新工場のオープニングスタッフ募集の記事を見て、応募したことがきっかけです。

Q さくらの良いところ

働いている方々がフレンドリーなところです。また、仕事中は熱心に取り組む、休憩中はしっかり休むというメリハリを感じます。

皆さんへのメッセージ

配管を使う側であった自分が、作る側になりました。どのような用途で使われるかを想像し、お客様が求めているものを作れるようになります。まだまだ学ぶべきことばかりですが、頑張ります!

おお たき こう へい
工事部 2課 **大瀧 康平さん**



出身地
宮城県

誕生日
12月23日

- 趣味
- ・洗車
 - ・子どもの習い事への送迎

Q 前職の仕事内容

電気通信業

Q 入社のきっかけ

社長への直談判です。

Q さくらの良いところ

適材適所な点が優れている。

皆さんへのメッセージ

皆さんと一緒に頑張ります!

ほん こう ひで かつ
製造部 **本郷 秀勝さん**



今でも忘れられない!

ベテラン社員の

失敗談

完璧に仕事をこなしているように見える上司や先輩方も、新人の頃はさまざまな失敗を経験しているものです。今回は、ベテラン社員2名に今でも忘れられない失敗談を語っていただきました!



製造部 次長
やまuchi まこと
八巻 誠さん

やってしまった過去の失敗

材料が足りず、作業が進まない事態に

4~5年前、気仙沼の冷蔵庫で配管工事を行った際、材料が不足して困ったことがありました。私が材料管理を担当していたのですが、当時は20人という大人数での作業で、進行管理も同時に行っていたため、材料数の確認を怠ってしまいました。手配が遅れたことで、急ぎの作業に支障が出てしまいました。

社員の皆さんへのメッセージ

人間は誰しも失敗をするもの。しかし、確認を重ねた上でのミスと、確認を怠ったミスは異なります。そして、後者は自分自身の成長の機会を逃すことにもなりかねません。皆さんもぜひ、「確かめる」ことの重要性を忘れずにいてください。

失敗から得た教訓

1つの確認不足が全体の問題になる

当時、一緒に現場にいた専務からの言葉が心に残っています。「材料が1つ足りないだけで、仕事は進まない。自分の仕事に集中するだけでなく、周囲が順調に仕事を進めるために、全体的な視野を持つこと」という言葉です。1つ手を抜くと自身も困難な状況に陥り、何より全体に影響を及ぼすということを学びました。

やってしまった過去の失敗

質問を繰り返したことで怒られてしまうことに……

これは、作業上のミスというよりは、当時のコミュニケーションにおける苦い経験です。私がまだ若手だった頃、先輩からの指示を何度も確認してしまい、「何回聞くんだよ!」と怒られたことがありました。私は昔から、「行動する前は内容をできるだけ細かく把握しておきたい」という性格でした。そのため、自分の認識が合っているかを確認したかったのですが、先輩としては早く着手してほしいと思っていたようでした。当時、仕事は見えて覚えるのがあたりまえであり、理屈よりもまず実践で覚えさせたいという先輩の意図があったのかもしれません。

社員の皆さんへのメッセージ

同じ仕事をしている仲間であっても、フィーリングは人それぞれ。「この人の教え方はわかりやすいな」という人がいれば、どんどん質問して理解を深めていってください。

後に活かしたいこと

誰にも聞けず、よくわからないまま仕事を進め、失敗して上司や先輩に怒られてしまう。そのようなことが起こらないよう、若手が質問しやすい環境をつくっていきたくて考えています。

社員の腕

第4弾

大坂さんの
凄い腕を紹介



製造部 部長
おおさか だいすけ
大坂 大輔さん

社員一人ひとりが持つ素晴らしい経験とスキルは、まさに会社の財産です。今回は、入社13年目で製造部を統括する大坂大輔さんにご登場いただきます。いかにして配管加工の技術を磨いたのか、技術向上の秘訣を伺いました。

現在の業務内容

工場内作業の円滑な進行管理

私は以前、工場長を務めていたため、現在は製造部部长と工場長を兼務しています。内容は、作業の段取りやスケジュール調整、人員配置などです。約15名の職人さんたちがスムーズに作業できるよう、職長や経験豊富な先輩職人、さらに幹部の方々とも密にコミュニケーションを取りながら、段取りを決めています。立場の違う者同士で協力することが大切で、当社の理念「異体同心」を体現していると感じています。

一番得意とする技術

ゴールへの最善の手段を模索すること

私の得意なことは、「人を動かすこと」と「配管加工」です。さまざまな人と対話を重ねて、より良い方法で業務を進める過程が好きで、その長所を現在の業務に活かしています。また、私はもともと技術職で、溶接を行っていました。経験は3~4年ほどで、入社当時は配管製作に伴う各種製作物や溶接に力を入れていましたが、現在は主に配管製作の管理などの配管関連の仕事を行っています。作業内容は異なりますが、目的を達成するための最適な手段を考える点では共通しています。



技術力を活かし、やりがいを感じた仕事

積極的に練習を続けて配管加工の技術を磨く

入社当時の私の溶接技術は、「溶接工具の基本操作ができる」程度のレベルでした。業務の中でより高いスキルが必要になり、現場で上手いかないときには、休憩や残業時間を使って練習する日々。その頃は先輩の技術を「見て盗む」時代だったため、とにかく自主的な練習に取り組みました。そんな中、自分の手で納得のいく綺麗な溶接ができた時の喜びは、何物にも代えがたいものでした。あの時の努力と経験が、今の私の仕事の原点であり、自信に繋がっていると感じています。

若手社員へのアドバイス

自らの気づきから行動を起こすことが大切

私たち先輩社員や上司が「やれ」と指示するのではなく、皆さん自身が、技術を向上させる必要性を感じて「自発的に取り組む」ことが重要です。人にはそれぞれ得手不得手があるはず。そのため、自分が何をやりたいのかを決めて、決めたことに向かって一生懸命努力をすれば、必ずと結果がついてくるものだと思います。自分自身の強みを身につけられるよう、頑張ってください!